

修了生の活躍事例

就職に強いポリテクカレッジへの進学が将来の幅を広げてくれました！

高校生の頃からものづくりが大好きで、知人の勧めで京都ポリテクカレッジの電子情報技術科(専門課程)に進学し、近畿ポリテクカレッジの生産電気システム技術科(応用課程)に編入しました。入校の決め手は何より、4年生の国立大学と比べ実験や実習時間が多く、将来の仕事と直結した専門知識や技術を多く学べるということです。

生産電気システム技術科では基板設計CADやマイコンを学び、最初は苦手だったマイコンの授業も少人数訓練と担当指導員のおかげで今では一番好きな分野になりました。

ポリテクカレッジに入校し、自分の強みを見つけたことで、今の仕事に出会えることができました。

開発課題を通してグループワークを学びました

学生時代は、日々の成果を活かせるように開発課題が与えられていました。グループワークは、協調性や技術力、意見交換や報告と今の仕事の現場で欠かせない内容だと実感しています。学生の頃は、意見が合わずぶつかることが多かったですし、自分の位置を知る苦い経験になりました。



開発課題で製作した
リバッティングマシーン

鶴賀電機株式会社 技術部

八田 愛花 さん

近畿職業能力開発大学校

応用課程

生産電気システム技術科

令和2年度 修了



将来、環境計を設計できるようになりたいと思っています

将来は、現在のWBGT開発業務をさらに深めて、環境計に関する研究開発を進め、学校関連や地域の施設に貢献できるようになりたいです。

ポリテクカレッジで学んだすべてが、現在の仕事に役立っています。ありがとうございました。

就職先企業での活躍

八田 愛花さんの業務

技術部開発チームに所属しており、ユーザーニーズに対応できる製品開発や新技術の研究をし、計測器や暑さ指数(WBGT)測定器の研究開発を行っています。

製品評価を行う八田さん▶



上司からの声 専務取締役(技術部長兼務)熊野 潔 様

暑さ指数(WBGT)測定器の開発に携わり、ユーザーや製造現場の声を取り入れた使いやすい製品の開発を担当しています。ポリテクカレッジの実習で学んだ事が自信となり初めての仕事でも意欲的に取り組んでいます。今後、製品開発の中心的な存在になることを期待しています。



鶴賀電機株式会社(大阪府大阪市)

現在 近畿ポリテクカレッジの修了生1名が活躍

鶴賀電機は電気製品の検査用測定器や社会インフラで欠かせない計器を製造販売するメーカーです。弊社の強みである計測技術を応用し「人の健康を守る」暑さ指数(WBGT)測定器は国内の研究機関や学校、工事現場などで多数採用されています。

(製品例)

- ・熱中症警戒WBGTパネル(402B-23)
- ・低抵抗計(バッテリー性能測定器 3586)
- ・耐電圧絶縁試験機(安全性試験装置 8505)

